2・3面　特集記事

『じてんしゃ』～あんぜん・あんしんのためのルール～

コラム　ここに母校あり
「横浜市立中村特別支援学校」

PTAよこはま

第155号

発行日／平成27年2月1日　発行者／横浜市ＰＴＡ連絡協議会　横浜市中区港町1-1 横浜市教育委員会内 TEL662-7080 FAX662-6084　編集／平成26年度 常置広報委員会

第6回 市P連 三行詩コンクール

テーマ
『我が家のルール』
『家族のきずな』
『命の大切さ』
『食べる』

ご存じですか？

三行詩とは、三行程度の短文の意味合いで必ずしも三行である必要はなく、俳句のようなものでも構いません。

家庭での日常のやりとりなどから思いついた親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや家庭のルール、「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり一緒に取り組むことの大切さを短文に表現したものです。詳細については横浜市ＰＴＡ連絡協議会のＨＰをご覧ください。

http://www.pta-yokohama.gr.jp/

表彰式のようす

平成26年12月13日、横浜情報文化センターにて第6回市Ｐ連三行詩コンクールの表彰式が行われました。

応募総数一一二五（小学生一〇〇四、中学生二一、一般一〇〇）点。優秀作品を文部科学省・日本ＰＴＡ共催三行詩コンクールに推薦しました。

表彰式には家族の晴れ姿を見るためにたくさんの参加がありました。作品を作ったときのエピソードが話され、実際に会場でお父さんに抱き上げてもらうなど、微笑ましい光景もあり和やかな空気に包まれました。

受賞者の川村勇太さんは「朝ごはんを食べると昼も夜も元気に過ごせる」と話し、大好物はお母さんの作るカレーや唐揚げだと笑顔で語ってくれました。

また家族4人で応募した市村亜紀子さんの作品は「お父さんに叱られても叱られても大好き」という小学生の息子さんたちの会話の中から作られたそうです。

あいさつ・講評

三行詩コンクール表彰式に参加して

横浜市教育委員会
学校支援・地域連携課
主任指導主事　山手英樹

受賞者の皆さんお一人おひとりに詩を読み上げていただき、作品を作った背景や思いをお聞きしていきました。受賞者の皆さんは、普段の生活を見つめなおし、慎重に言葉を選び、リズムを工夫し表現したことがわかりました。そして作品を作っていく中で気が付いた家族のありがたみ、人のぬくもりは、家族のきずなをより深めたことと思います。「やっぱり家族っていちばん大切なんだなあ」と感じる、素晴らしいひと時でした。

温かいまなざしで、すてきな思いを綴られる人がますます増え、笑顔あふれるご家庭が多くなることを切に願っています。

会長賞

＜児童・生徒の部＞

おとうさんが、
「とうこのおもさが、うれしいな。」って。
よぉし、もっとたべるぞ。
浅沼貴子（西・東小1年）

もりもり、にっこり、朝ごはん。
元気ムクムクわいてきた。
なんでも、出来そう今日のぼく。
川村勇太（泉・東中田小4年）

ママが悲しむか考えた
悪いこと
できないな
尾崎史弥（神奈川・幸ケ谷小4年）

弟のね顔を見てると、なんだかほんわかする。
思わず体中さわりたくなっちゃう。
おこしてごめんね。
榊原圭之介（都筑・茅ケ崎台小5年）

おにぎりは
母のぶんしん
おおえんだん
葛西健斗（泉・中和田小5年）

妹が泣く、僕が怒られる。
妹が笑う、僕がほめられる。
妹はかわいい。でも難しい。
扇田凌太朗（都筑・山田小5年）

横たわる　父に自然と
むらがる家族
斉藤未果（戸塚・東品濃小6年）

６年通った登校班
短い距離の父との会話
私の大切な小学校の想い出
盛田優花（鶴見・潮田小６年）

ごめんなさい
言えた後にはお互いの
心の空に七色の橋
平川永遠（南・南が丘中3年）

誰だこの靴でっかいなぁ。
久しぶりに並べたら、父より大きくなっていた。
他にもたくさん越えれるかな。
春鳩（都筑・茅ケ崎中3年）

＜一般の部＞

四肢マヒの兄への声かけ
忘れない　回復信じる弟の
優しい心　守りたい
成田由美子（瀬谷・上瀬谷小学校）

叱られた末っ子が
歩きながらそっと手をつなぐ
ちょっとうれしい叱った父さん
市村亜紀子（保土ケ谷・笹山小学校）

もしもしの
声ですべてを悟られる
母は天下の名探偵
鳩ポッポ（旭・左近山中学校）

気が付けば　私のそばでお手伝い
あなたの成長感じては
うれしさもあり　さみしさもまた
紗香ママ（戸塚・平戸小学校）

弟が「お姉ちゃん　手をかして」と
十より大きいたし算に
姉も一緒にお手伝い
板橋千浪（戸塚・汲沢小学校）

2年連続表彰!!

第36回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール 文部科学大臣賞受賞
山田小学校ＰＴＡ

広報紙作りのヒミツを広報委員長に聞きました。

Q1　2年連続の受賞の感想

正直な話、どのようなところが評価されたのかもわからないままの2年連続の受賞だったので最初は実感が湧きませんでした。横浜ＰＴＡ新聞研究会の講習会などで学んだことを実践してきた結果が受賞につながったと思うととても嬉しいです。受賞したことで、全国の高いレベルの広報紙を発行する学校との縁もでき、よい刺激となっています。

Q2　広報紙作成にあたってどのようなことを大切にしていますか

常に「やまた」らしさを念頭に置き、企画立案、紙面展開を考えています。幸い記者＝読者でもあるので、身近な話題を拾い上げることができます。更に、一般的にも取り上げられる特集を扱う場合でも「やまた」の読者に直に関わる内容へと昇華させ、掲載するようにしています。また、学校との連携を密にすることも重要です。連携が密になればなるほど、広報紙の可能性が広がると考えています。

Q3　広報委員の決め方、引継ぎはどのようにしていますか、また、その際の留意事項はどのようなことですか

実は、毎年委員会設置か否かを決定する「最低10人立候補」という基準があります。しかし、それを逆手にとって友達同士で立候補するなどの傾向もあるので、最初から結束が強いというメリットもあります。引き継ぎに関しては いまも試行錯誤の真っただ中ですが、取材、記事執筆、レイアウト作業、校正といった一つの作業に特化した講習会を開き、継続委員が講師となって得意な項目をレクチャーしています。

第46関東ブロックPTA研究大会 さいたま市大会

平成26年10月25・26日に「ささえ合い　いのち尊び　たくましく　まごころつなぐ　子どもたちに～五つのことだま　子は親の鏡　生き抜く力を子どもたちに～」をスローガンに開催され、横浜市Ｐ連から延べ１２２名が参加しました。

1日目はさいたま市内8ヶ所にて分科会が開催。横浜市からは第3分科会「健康」において、港北区大綱中学校ＰＴＡが「ＰＴＡ・学校・地域でつなぐタスキ～大綱中学校ＰＴＡ港北駅伝チームの取組～」という発表題で研究発表を行いました。

2日目の全体会ではさいたま市出身の歌手沢田知可子さんによる「ココロとカラダに優しい歌薬～トーク&ミニコンサート～」がご主人のピアノ伴奏で行われ、音楽を通じて幸せの波動を伝えていただきました。

さいたま市大会では子どもの健やかな成長を応援し未来を生きる子どもたちの「生き抜く力を育む」ため家庭・学校・地域が手を携え、心をつなぎ、地域社会全体の「絆」「命」「体」「心」「未来」を主要研究テーマに研修・実践を深めていくことを決議し、その実現に努めるとともに分科会・全体会で研鑽を行いました。

閉会式では、次回開催地である横浜市が大会旗を引き継ぎ、ＰＲ・あいさつを行い、来年に向けて出港しました。

次回関東ブロックＰＴＡ研究大会は平成27年10月24日（分科会）・25日（全体会）横浜大会です。

ここに母校あり～未来へはばたけ～

横浜市立 中村特別支援学校

「ともに学びともに生きる」

南区にある中村特別支援学校には小学部、中学部、高等部合わせて69名の主に肢体不自由の子どもたちが通学しています。同じ敷地内に併設された中村小学校とはドア1枚でつながっていて、お互いの校舎を生徒が行き来し、日頃から自然に交流をおこなっています。

◆学校行事に参加
◎中村オリンピック＝運動会
（両校職員で共同企画運営）
◎作品展
◎学習発表会
◎なかよし学級を中心とした交流
◎中村小学校の休み時間帯での交流
◎ＰＴＡ活動（プリザーブドフラワー作り他）

◆中村特別支援学校の保護者たちが、イラストを描き保護者の視点で書いた、愛情あふれる手作りの絵本『やさしい声と小さな笑顔』を紹介します。

重い障がいがある子どものために親子で取り組むうんどうの様子や、体の各部所に触れるボディータッチの際の声のかけ方や感じ方など支援のポイントが分かりやすく描かれています。

子どもの心を育てていく上で、いちばん大切なことは障がいのある・なしに関わらず保護者が子どもを包みこむ「ことば」だと思います。自分の子どもとの初めての「ふれあい」「おしゃべり」などどれも大切な瞬間だったはずです。時が経ち、子どもが成長しふれあいながらおしゃべりする時間が減ってきます。日常生活で親子の何気ないふれあい・声かけ・おしゃべりの大切さ楽しさを改めて『気づく』きっかけになります。

この絵本『やさしい声と小さな笑顔』は横浜市安全教育振興会から各学校に２冊寄贈されています。この機会に興味をもたれた方は是非お手にとってみてはいかがでしょうか。

今どきの自転車事情！

――自転車事故について考えよう
自転車も のれば車の なかまいり！

【インタビュー】神奈川県警の方にお話を伺いました
――交通総務課：佐藤貴道警部補――

神奈川県警察本部

昨今、全国的に自転車の利用マナー向上について注目が集まっており、高額賠償を請求されるような事故も起きています。このような事例から被害者にも加害者にも成り得る自転車事故について知り、安全に対する理解を深めるため、神奈川県警の佐藤警部補にお話を伺いました。

――まず、神奈川県の現状について教えてください。自転車事故は近年増加傾向にありますか?
交通事故全体に占める自転車事故の構成率は横ばい（人身事故全体の約四分の一）で推移しておりますが、自転車が関係する死亡事故は増加している状況です。11月30日現在で、23人（前年比＋２人）の方が自転車関係事故で亡くなられています。

――どのような事故が多いですか?
事故の類型としては、「右折・左折時」や「出会い頭」が多いです。

――事故に遭われた方の年齢層や特徴などありましたら教えてください。
年齢層としては、15歳（中学生）以下が多いです。

――事故が多発している場所はどんな所ですか? また特徴的な原因はありますか?
発生場所としては「交差点」が多いです。事故原因や違反は「安全不確認」や「一時不停止」が多くなっています。

【神奈川県自転車関連事故発生状況】
神奈川県警調べ（平成26年11月末）

※増減数は去年の同類型と比較した際の数

昼 時間別	昼間						
	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	小計
発生件数	623	1101	773	735	780	1011	5023
増減数	−81	−118	−82	+4	−101	−250	−628

夜 時間別	夜間						
	18-20	20-22	22-24	12-14	0-2	4-6	小計
発生件数	682	311	149	61	22	68	1293
増減数	−132	−22	−31	−12	±0	+5	−192

【事故発生時間帯】

※構成率は、全人身交通事故に占める自転車関係事故の割合

年別	24年中	25年中	26年11月末
発生件数	8,552	7,781	6,316
増減数	−882	−771	−820
増減率（%）	−9.3	−9.0	−11.5
構成率（%）	23.1	23.0	23.0
死者数	17	24	23
増減数	−5	+7	+2
増減率（%）	−22.7	+41.2	+9.5
負傷者数	8,452	7,664	6,229
増減数	−886	−788	−800
増減率（%）	−9.5	−9.3	−11.4

【事故発生件数等】

――自転車は「車両」である、という認識が薄いと感じますが、実際にはどうですか?
自転車は車やバイクと違い免許のいらない乗り物です。誰でも気軽に乗ることができますが、その分ルールが守られにくい乗り物であると実感しています。ルールの認識不足による違反や事故は、使う側の意識を高めることで、減らすことができるのではないかと考えています。

――子どもの事故で親が賠償責任を負うケースがあるようですが、どんな事例がありますか?
子どもが加害者になった場合、自転車の点検・整備などの保護者の管理不足から責任問題になるケースがあります。ブレーキやライトが正常に作動するかなど、子どもの成長に合わせて、常に子どもの自転車の状態を把握しておくことが必要です。

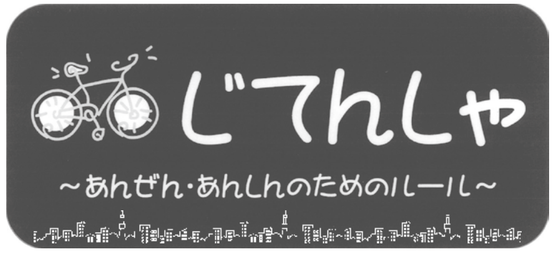
――被害者にならない、加害者にならないために、必要なことは何ですか?
「ルールを守ること」が大前提です。そして自分が事故の当事者になる可能性があるという意識を持ち、他人ごとではなく自分の問題として安全について考えることが重要です。自転車は便利な乗り物ですが、人の命を危険にさらす可能性がある、リスクを持った乗り物でもあります。ルールを守ることは、自分の命を守ること、ひいては他人の命を守ることにもつながります。常に周囲のことを考えながら運転するように心がけることが必要です。

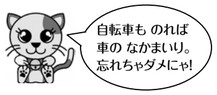
――子どもたちに教えていかなければならないこと、自転車を与える前に教えた方がいいことなど、ありましたら教えてください。
まず、自転車に正しく乗れるように指導してください。そして標識を含め交通ルールを親子で共に学び、正しい知識をお子さんに教えてあげてください。親が子どもへルールを正しく教えることが未来の安全につながります。

【実際に起こった自転車事故の例】 ――自転車で走行中、「一時停止」を守っていますか？
一時停止の標識を守らずに交差点へ飛び出し、交差道路を走行してきた乗用車と衝突して重傷を負ったが、一時不停止のため、受け取るはずの賠償金が五割減額された。（平成３年３月：名古屋地裁判決）

一方通行　一時停止　進入禁止

この標識ご存じですか？
「一方通行」… 矢印の方向に進めます
「一時停止」… 停止線の直前で一時停止し安全確認します
「進入禁止」… この標識の方向からは入れません
このような交通規制の標識は、「自転車は除く」等とある場合を除き、実は自転車にも適用されるのです。

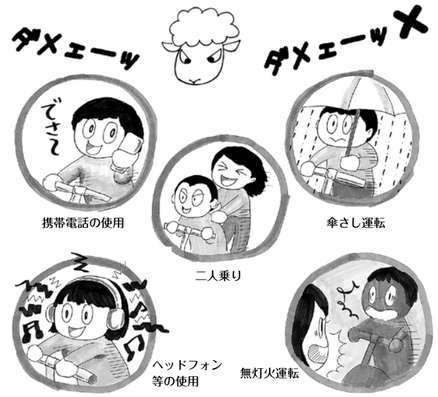




ちょこっと メモ

神奈川県内の自転車事故の特徴
★午前８時台と午後５時台に多い
★出会い頭、右左折時の事故が多い
★原因は、安全不確認、一時不停止が多い

自転車の大事な原則のひとつが、車道の「左側通行」です。以前は自転車が通行できる路側帯ならば、左右どちらでも通行できましたが、平成25年12月の道路交通法改正により、路側帯でも左側通行のみとなりました。違反すれば、３ヵ月以下の懲役または５万円以下の罰金という重い罰則がある、とても大切なルールです。左側通行は安全の第一歩ですね。



親子であんぜん・あんしん！自転車に乗ろう！

自転車は便利な乗り物です。子どもが大きくなると一緒に自転車に乗る機会は少なくなってきていますよね。高学年以上になると子どもたちだけの外出も増えてきます。たまには家族のお出かけに自転車を使って、あんぜんあんしんな自転車の乗り方を見直してみませんか。子どもが正しく交通ルールやマナーを理解しているか、この機会に改めて確認してみてはいかがでしょうか。

自転車の楽しみ方のひとつにサイクリングがあります。横浜にもいくつかサイクリングコースがあります。本やホームページで調べてみると、本格的に走ることのできるコースも紹介されています。例えば青葉区から都筑区にかけての「鶴見川青少年サイクリングコース」や全長約25kmある「境川サイクリングコース」など自動車が入れない自転車専用のコースで、あんしんしてサイクリングを楽しむことができます。

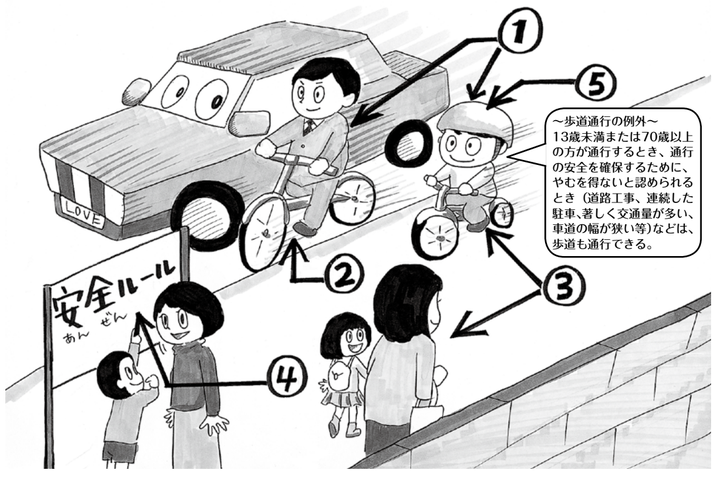
アップダウンが少なく、観光地や歴史的建造物もあるみなとみらい地区をベイバイクやレンタサイクルを使って、家族で気軽に楽しんでみませんか。

◀みなとみらい・関内エリアに貸出、返却できる拠点を36ヶ所もつベイバイク。手軽に観光地間の移動が可能。駐輪場を探す手間がなく便利。

▲中華街東門付近のレンタサイクル店。全て電動アシスト付自転車を取り扱っている。三溪園や野毛山動物園にも足をのばせる。

《取材を終えて》

自転車は一番身近な乗り物。ですがルールを守らない危険な乗り方をした自転車にヒヤッとさせられた経験があるのではないでしょうか。一歩間違えたら大事故につながる自転車。まずは大人がしっかりルールを理解し、子どもに日ごろから伝え続けなければならないと思いました。



知ってる？ 守ってる？ 自転車のルール

便利で手軽な日常の足、自転車。そんな身近な自転車も乗れば「くるま」の仲間です。ここで紹介する自転車のルールを、きちんと知って、しっかり守って、あんぜん・あんしんな自転車ライフを楽しみましょう。

これだけは守りたい自転車の基本的なルール「自転車安全利用五則」

①自転車は、車道が原則、歩道は例外　②車道は左側を通行　③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行　④安全ルールを守る（飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認）　⑤子どもはヘルメットを着用（平成19年７月10日 内閣府交通対策本部決定）
少なくとも、この五則を覚えて守って自転車に乗りたいですね。

キリトリ
入園料割引券
有効期限 平成 27 年 4 月 5 日（日）まで
春は よこはまの動物園へ 行こう！
ズーラシア 2015 年 4 月 22 日 アフリカのサバンナ 全面開園！
よこはま動物園ズーラシア
野毛山動物園
金沢動物園
キリトリ
こちらの広告切り抜きを入園口受付提出で以下のいずれか１つご利用いただけます。（入園割引は本券１枚につき４名様まで）
・ズーラシア入園料 100 円引
・野毛山動物園にてポストカード（本券１枚につき１枚）プレゼント
・金沢動物園入園料 100 円引

ご利用日	ご来園人数
平成 27 年　月　日	大人＿名　高校生＿名 小・中学生＿名　未就学児＿名

※休園日はご利用いただけません。　※事前に上記枠内をご記入ください。
※コピー及び団体でのご利用、他サービス券との併用はできません。
※駐車場は有料（ズーラシア１回 1000 円、金沢１回 600 円）です。
指定管理者
横浜市緑の協会 Yokohama Greenery Foundation

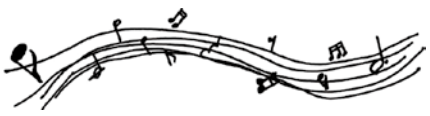
“夏休み親と子の工作教室”でおなじみの
神奈川土建です
住宅リフォームのご相談は
横浜市内の建設業者へ
かながわ職人 NAVI　検索
http://www.shokuninnavi.com/
神奈川土建・横浜市協議会　tel 045-453-9806

買い物も
勉強も
アソビも
全部揃ってる
トレッサ横浜
トレッサ横浜
営業時間 10:00～21:00
※一部営業時間が異なる店舗がございます。
水曜５時はおトクがいっぱい！
水 水曜の5時市 5
環状2号線沿い師岡町交差点そば
土・日は、さらに 450台
駐車場2,700台 全日無料
トレッサ横浜　検索

携帯メールマガジン「はまのタスケ・メール」では、相談の多い契約トラブル等の事例を紹介しています。
「はまのタスケ・メール」で悪質商法の手口を知って、キッパリ「NO!」と断りましょう！
登録は簡単！無料！
QRコードからも登録できます。
yokohama@star7.jp
まで空メールを送信。
送られてきたメールのリンク先 URL にアクセス。
登録 ボタンを押して完了！
「はまのタスケ」
デザイン協力 / 岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校 グラフィック科
横浜市消費生活総合センター
消費トラブルのご相談は 045-845-6666
受付 平日 9：00～18：00 土日 9：00～16：45

第58回ＰＴＡ音楽交歓のつどい

平成26年11月19・20・21日



「音楽交歓のつどい」ってご存知ですか？

市内各校からＰＴＡコーラスグループなど有志団体が主に合唱、演奏を発表する年一回の大きな事業です。出演団体の人数や構成はさまざまです。

はじまりは昭和32年。ＰＴＡ結成10周年を記念して開催されました。

音楽には、人々に夢や希望、勇気や元気を与え、感動する心や豊かな人間性を育む力があります。この「ＰＴＡ音楽交歓のつどい」が皆さんとのつながりをより強いものとしていく一助となればと願い、今年度で58回目を迎えることができました。

参加者の声

毎年この集いのためだけに練習を重ねてきました。今後はもっと若い方々にも参加してもらいたいわ～。

人数は少ないけれど、ＰＴＡ総会の前に子どもたちの合唱クラブとコラボして発表することもあります。

子どもたちと一緒に歌うことができてとても楽しめました。また、カワイイ衣装を着て舞台に立てて、子どもたちも喜びました。

ここ10年ほど参加しています。皆さん年々レベルアップしていますね。他に発表する機会が無いので活動のモチベーションになっています。

先生と楽しく歌えるものを選曲しました。衣装も毎年工夫して楽しんで参加しています。

～ドタバタ取材日記～

私たちが広報委員として初めて取材をしたのが、この音楽交歓のつどいでした。会場に一歩足を踏み入れると、足音や花束のラッピングの擦れる音にも気を遣うほどの緊張感。それもそのはず、出演者の皆さんはこの日のために一年間頑張って練習してきているのです。そんな皆さんの意気込みや運営を支える常置委員さんたちの熱い思いを感じることができました。

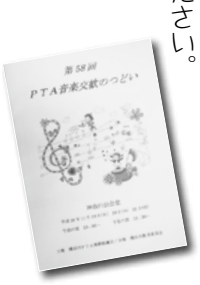
写真撮影時のカメラの音やフラッシュも迷惑行為になりかねないため、放送室から鑑賞も兼ねて撮影、どんな風に取材しようか段取りを再確認しながら、我々広報委員は動き始めました。

一方で、出演者の皆さんはというと、本番前の発声練習を念入りにされていて、その歌声は会場の外まで聞こえてきました。

舞台に上がると、歌声はもちろんのこと、衣装もそれぞれに工夫され、かわいいプリンセスたちが登場したり、振り付けがあったり、コーラス以外にもトーンチャイムの演奏があったり、と趣向を凝らしており、聴くだけではなく見ていても楽しくなるようなプログラムでした。

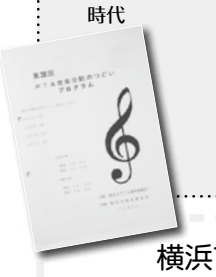
歌い続けて23年！という団体もあれば、新しい仲間が増えて歌声にも年齢層にも厚みが出てきたという団体、人数が少なくて部員を募集しているという団体もあります。興味のある方は是非会場に足を運んでみてはいかがでしょうか？　もしかすると、あなたの学校にもこの会に参加しているコーラス部や音楽サークルがあるかもしれません。

聴きに行きたい!!　参加して歌ってみたい!!　は大歓迎です。来年度の募集は7月頃を予定しています。是非、問い合わせてみてください。



～20年前と比べてみました～ ベスト３（人気曲）

1994年度 第38回	2014年度 第58回
同率１位	１位
サウンド オブ ミュージック	Let It Go ～ありのままで～
君をのせて	２位
いい日旅立ち	花は咲く
時代	３位
	ひこうき雲
	やさしさに包まれたなら
	今、咲き誇る花たちよ
	雨のち晴レルヤ



横浜市PTA連絡協議会
事務局
e-mail：ycity-pta-7080@car.ocn.ne.jp
TEL：662-7080　FAX：662-6084

第62回 日本ＰＴＡ全国研究大会 長崎県大会

平成26年8月22日・23日に、異国情緒においては横浜と一味ちがう長崎県にて、日本ＰＴＡ全国研究大会が開催され、横浜市Ｐ連からは47名が参加しました。

1日目は長崎県内各地で10分科会が開催され、県内出身で全国的にご活躍されている講師の方々による基調講演や、長崎県内ＰＴＡの実践発表やパネルディスカッションなどから、ＰＴＡ活動への様々なヒントを得ることができました。

2日目は長崎県立総合体育館で全体会が行われました。記念講演では「子は育ち、親も育つ。楽しまなくっちゃもったいない。」を演題に、育児漫画家の高野優氏が、ご自身が経験した子育て中の悩みや喜び、また幼少期のお話により〝うずくまっている子でも、周囲の人の言葉の掛け方ひとつで飛躍する〟と、大人が見守ることの大切さを即興で描くイラストを交えながら、楽しいお話を聞かせていただきました。

その後、大会宣言を決議して閉会となりましたが、今回は帰りの飛行機まで多少時間もあり、気の合った参加者同士で長崎市内を見学するなど、区部を越えた交流も図られた大会となりました。

次年度は平成27年8月21日・22日に札幌市にて開催されます。

第70回指定都市ＰＴＡ情報交換会 京都大会

おこしやす京都　出会い　ふれあい　学びあい
～子どもたちのかけがえのない今と未来のために～

平成26年9月11日・12日、京都市にて第70回指定都市ＰＴＡ情報交換会が開催され、横浜市Ｐ連から6名が参加しました。

1日目の開会式では、着物姿で有名な門川大作市長が来賓として祝辞を述べられ、今年度開催地の京都市代表より昨年度開催地の横浜市Ｐ連森川会長に感謝状が贈呈されました。続く分科会は、「組織・運営」「研修・研究活動」「地域連携」「広報活動」の4会場に分かれ、各協議会の情報を交換し気付きや確認を得る時間となりました。

2日目の全体会は、山本シュウ氏を講師に「地域の絆と親子のコミュニケーション力アップ！～Ｗｅ ａｒｅ シンセキ！ Ｗｅ ａｒｅ ＰＴＡ!!～」自称大阪のおせっかいおばちゃんレモンさんの、笑いあり感動ありの基調講演が行われました。

サービス精神とおもてなしの心が伝わり、世界一の観光都市京都市の誇りが感じられる大会となりました。

次年度平成27年は9月17日・18日に神戸市にて開催されます。

横浜市ＰＴＡ連絡協議会 研修会

これからのＰＴＡの話をしよう
～任意性の議論を超えて～

平成26年12月4日、師走の寒空の中、市内各校よりＰＴＡ会員が神奈川県立音楽堂に集い、研修会が開催されました。

〈横浜市のＰＴＡについて〉
「ＰＴＡの組織・任意性について」

前半は春の新任役員研修会の続編として、市Ｐ連役員より、横浜市のＰＴＡの会費の金額や徴収方法、広報紙の発行回数などの情報提供がありました。

また任意性について、ＰＴＡが任意団体であり、加入も任意である上で、委員役員活動で注意することの簡単な説明と、任意性によって起こりうる問題事例と対応での注意事項などの解説が行われました。

〈パネルディスカッション〉

後半はあおば学校支援ネットワーク竹本代表をコーディネーターとして、都筑区東山田中学校ＰＴＡ、港南区相武山小学校ＰＴＡをパネリストに迎え、市Ｐ連会長と各パネリストによる実践事例の紹介に続き、来場された皆さんから広く意見を募る形式でディスカッションが行われました。

「ＰＴＡ委員の成り手がいない」「ＰＴＡ活動に参加する保護者が少ない」などの悩みに対し、ＰＴＡ説明会でスライドショーを用いた結果「ＰＴＡ活動の楽しさが伝わった」との声が上がった例、ＰＴＡが学校保健委員会へ出席し、より児童の近くで学校活動と子どもたちを見守っている例など、さまざまな事例が紹介されました。

最後に横浜市教育委員会学校支援・地域連携課 山手主任指導主事に助言をいただいて終了しました。

PTAよこはま154号「平成26年度優良PTA表彰校」の記事において、所属区の間違いがありました。お詫びと共に訂正させていただきます。
さちが丘小学校PTA（旭区）、西本郷小学校Ｐ.Ｔ.Ａ.（栄区）

平成26年度優良PTAほか受賞校（者）

文部科学大臣表彰　優良ＰＴＡ
池上小学校　父母と先生の会
茅ケ崎中学校ＰＴＡ

神奈川県教育委員会表彰　優良ＰＴＡ
東山田中学校ＰＴＡ
綱島東小学校ＰＴＡ
三保小学校ＰＴＡ
俣野小学校ＰＴＡ
西本郷小学校Ｐ.Ｔ.Ａ.
寺尾小学校ＰＴＡ
荏田南中学校ＰＴＡ
新橋小学校ＰＴＡ
さちが丘小学校ＰＴＡ

日本ＰＴＡ全国協議会会長表彰
団体表彰
三保小学校ＰＴＡ
俣野小学校ＰＴＡ
西本郷小学校Ｐ.Ｔ.Ａ.
個人表彰
大塚俊明　西嘉之
野澤眞二　星川薫　生田麻実

全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクール
文部科学大臣賞
山田小学校ＰＴＡ
佳作
生麦中学校　教育振興会

第32回横浜市ＰＴＡ連絡協議会
山下公園ファミリー写生大会
平成27年４月26日（日）
９：30～14：00
（雨天予備日４月29日（祝））
ご家族で写生を楽しみませんか。時間内にご自由においでください。詳しくはチラシ、HPにて
協賛：ぺんてる株式会社
ぺんてる

shimosato / honda / mori / ohi / matsumoto / a.nakamura / kinoshita / tezuka / suzuki / kawabe / yokoyama / nishizawa / suichi / k.kaneko / yoshida / miyata / special thanks! mr.t.kobayashi / PTA YOKOHAMA NO,155 2015.2.1